

給食に思いを込めて——

ちょうりじょうゆうびん 7月の予定献立表

—おらほの食材—

米・さやいんげん・キャベツ・きゅうり・小松菜・ズッキーニ・玉ねぎ・なす・にんにく・ピーマン・夕顔・かぼちゃ・トマト・おくら・じゃが芋・すいか・とうもろこし・納豆・みそ など

日	曜日	料理名
3	月	ごはん、牛乳、ウィンナーカレー揚げ、切り干し大根煮、もずくスープ
4	火	ごはん、牛乳、タンドリーチキン、ほうれん草のミモザ風ソテー、厚揚げのみそ汁
5	水	コッペパン、牛乳、スパゲッティナポリタン、カラフルサラダ、米粉の豆乳シチュー
6	木	ごはん、牛乳、豚肉のスタミナ炒め、ツナ入り小松菜のおひたし、春雨スープ
7	金	七夕献立：ポークカレー、牛乳、星型ハンバーグ、中玉トマト、七タクレープ
10	月	ごはん、牛乳、チキンメンチカツ、マカロニサラダ、たけのこのすまし汁
11	火	麺の日：冷やし中華、牛乳、棒餃子、アセロラゼリー
12	水	食パン、牛乳、モーカフライ、カミカミサラダ、ミネストローネ、チョコクリーム（中学のみ）
13	木	ごはん、牛乳、ひじき入り厚焼き玉子、炒めビーフン、豆腐スープ、白鹿産大豆の納豆
14	金	白鹿産米沢牛給食：牛丼、牛乳、ほうれん草のごま和え、かぼちゃとなすのみそ汁、茹でとうもろこし
18	火	ごはん、牛乳、いわしのごま味噌煮、切り干し大根のソース炒め、わかめのみそ汁、ソフール（中学のみ）

7月の給食では、2種類の主菜から選択して食べる『セレクト給食』を実施します。今回は、「鮭メンチカツ」と「彩り野菜とキャベツのミンチカツ」のどちらかを選んでもらいます。事前にそれぞれの料理の栄養価や特徴を紹介したプリントを配布します。セレクト給食を通して、さまざまな情報をもとに食品を選択する力を養ってほしいと思います。

また、町内産の夏野菜が旬を迎え、給食でもたくさんさんの地元食材を使わせていただけます。生産者の方々の思いのこもった食材を、美味しく調理して子どもたちに届けたいと思います。

19	水	セレクト給食：山形県産米粉コッペパン、牛乳、チーズインサラダ、カレースープ、彩り野菜とキャベツのミンチカツ or 鮭メンチカツ
20	木	ごはん、牛乳、イカよせフライ、トマトとチーズのマリネ、緑黄色野菜のスープ
21	金	小学校のみ：ごはん、牛乳、鶏と根菜の平つくね、切り昆布煮、もやしの味噌スープ
24	月	小学校のみ：ごはん、牛乳、さばの割烹漬、春雨サラダ、玉ねぎと厚揚げのみそ汁
25	火	ごはん、牛乳、鶏肉のレモン漬け、キャベツのおかか和え、小松菜のみそ汁、すいか
26	水	食パン、牛乳、ハンバーグケチャップソース、コーンと海藻のサラダ、コンソメスープ、スライスチーズ（中学のみ）
27	木	中学校のみ：ごはん、牛乳、さば味噌マヨネーズ焼き、ゆがのおのそぼろ煮、鶏ごぼう汁

※この他、毎日牛乳が1本付きます。
 ※材料の都合により、献立を変更する場合があります。
 ※児童・生徒のご家庭には事前に配布しています。また、町のHPにも掲載していますのでこちらもあわせてご覧ください。
 ※材料調整や手配の都合上、この時期の掲載となります。ご了承ください。

荒高掲示板

スポーツ祭を開催
高校囲碁選手権山形大会

荒高スポーツ祭を開催

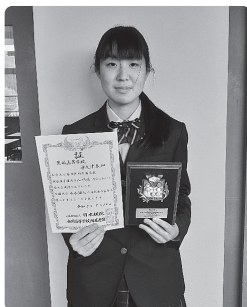


力のこもった綱引き

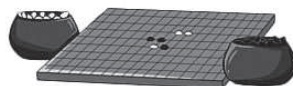
荒高三大行事の一つである「スポーツ祭」が、6月15日（木）に開催されました。全校生徒が「赤軍」「白軍」に分かれ、計6種目行い、大いに盛り上がりました。

高校囲碁選手権

山形大会にて上位入賞



安久津春加（2年） 女子個人戦
準優勝（全国大会出場！！）



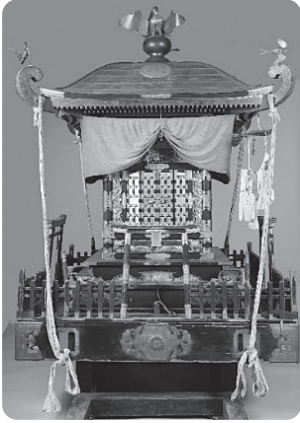
赤軍のダンス♪

さんぽ道

白鷹町史談会

土葬の思い出

昔の埋葬は土葬が一般的で昭和30・40年代まで続いています。昭和37年の町報には火葬炉新築と霊柩車の写真が載っていますが、自動車の登場まではお神輿に似たお棺(左記写真参照)で出棺していました。この頃の葬式の「内手伝い」について3人の会員(横田尻・萩野・十王)実家または母方の実家について)に尋ねてみました。



土葬で使ったお棺
町歴史民俗資料館所蔵
(旧笠松地区の墓地)



葬式では、男衆が穴掘りなどの外手伝い、隣組の女子衆は内手伝いで賄いを担当しました。内手伝いは家主から何十人、百何十人前の食事を頼まれると通い帳(家主が後日支払う)で買い物をし、年長者に必ずお伺いを立てて準備を進めました。料理は注文通りに用意したので余らないようにと皆に食べてもらったそうです。

また、葬儀のあった家の親戚の女性は漬物や野菜、干し物を持ち寄ったと言います。このように時に備えて沢山の保存食を作っていました。葬儀屋のなかった時代、皆で助け合ったと3人は語っていました。

(白鷹町史談会(対談者)
竹田伊智子・長澤千恵子・
嶋林淳子)

町報川柳 — 教 —

百寿の友会話もはずむ教えられ	母が子に教えた味はまだ遠い	百姓父に教わり今生きる	親の知恵教えを杖に今に生き	亡き母の教えと背を見て今がある	脳硬くスマホ孫に教えられ	友と茶のみ教えられること多かりし	いただいた多くの教え感謝する	パソコンを孫の教師で習い出す	若い頃聞いて教えられた事が今ほれる事が多くなり	「優しさは力」教師の色紙有り難き	あの先生の説教があり今がある	漬けものの母の塩梅教え乞う	知恵袋過去の教えの的確さ	生き字引き出し多く叶わんわ	誰よりも友に教わる同級生	教職員アライワークしらん顔	人生きる道徳学び事件ナシ
広野 新野智耶子	高玉 高橋 朝子	山口 石川與次衛門	菖蒲 小関 弘	十王 松野いせ子	十王 守谷 勝助	荒砥乙 木口 とよ	浅立 梅津美千子	荒砥乙 保科 努	山口 渡部喜美子	坂戸市 安達 功	鮎貝 植木 英夫	浦安市 鷹山 悠介	箕和田 土屋 平敏	箕和田 土屋 敏子	滝野 小関 俊英	高岡 安部 健一	畔藤 安達 次男

次回「夢」七月二十五日まで／「誠」八月二十五日まで(※作品には、ふりがなを振ってください)
白鷹町大字荒砥甲八三三番地 白鷹町役場企画政策課情報係 宛